

令和6年度森林湖沼環境税活用事業の実績について

令和6年度 森林湖沼環境税 税収額・支出額

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

	当初計画	決算見込み
税収額	1,795,217千円	1,789,831千円
支出額〔税充当額〕	2,173,133千円 (422,415千円)	1,510,361千円 (362,003千円)
森林の保全・整備	1,277,138千円 (310,400千円)	920,443千円 (260,005千円)
湖沼・河川の水質保全	895,995千円 (112,015千円)	589,918千円 (101,998千円)

※当初計画の支出額（事業への税充当額）と税収額の差については、前年度までの森林湖沼環境基金の残額を充当

1

令和6年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【森林関係】

1 自立した林業経営による適切な森林の整備・管理

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
いばらきの森再生事業			
経営規模の拡大に意欲的な林業経営体が行う再造林、間伐等の森林整備に対し補助	再造林 195ha (25ha) 間伐 900ha (400ha) 755,400千円 (250,400千円)	再造林 181ha (44ha) 間伐 421ha (220ha) 596,910千円 (250,005千円)	 人工林伐採後の再造林
		〔 ※このほか、R7年度に繰り越して実施予定 〕	

いばらき林業トッパーナー育成支援事業

本県林業を牽引するトッパーナーを育成するため、経営規模の拡大に意欲的な経営体による高性能林業機械やスマート林業技術の導入に対し補助	スマート林業に取り組む経営体 3経営体 ※累計9経営体 130,000千円	スマート林業に取り組む経営体 4経営体 ※累計9経営体 95,116千円	 高性能林業機械による伐採作業
		〔 ※このほか、R7年度に繰り越して実施予定 〕	

2

令和6年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【森林関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
種苗生産体制整備事業			
再造林の推進に伴い供給増が求められている林業用苗木の安定供給を図るため、採種園を整備するとともに、コンテナ苗の生産技術を改良	採種園整備 0.15ha コンテナ苗の生産に係る技術改良 3,100千円	採種園整備 0.15ha コンテナ苗の生産に係る技術改良 2,733千円	 コンテナ苗生産に係る技術改良
いばらき木づかいチャレンジ事業			
県産木材の利用促進を図るため、モデルとなる建築物の木造化・木質化等の取組に対し補助	木造化・木質化 8施設 (2施設) 177,800千円 (60,000千円)	木造化・木質化 1施設 (1施設) 19,860千円 (10,000千円)	 建築物の木質化 (昨年度竣工した駅舎) 〔 ※このほか、R7年度に5施設繰り越して実施予定 〕

3

令和6年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【森林関係】

2 森林環境の保全

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
海岸防災林機能強化事業			
海岸防災林の機能強化を図るため、松くい虫被害予防の薬剤散布や広葉樹等の植栽を実施	薬剤散布 425ha 広葉樹等植栽 8ha 155,000千円	薬剤散布 425ha 広葉樹等植栽 8ha 154,714千円	 広葉樹等の植栽
森林・林業体験学習促進事業			
森林環境教育を推進するため、小中学生等を対象に森林・林業に係る体験学習を実施 森林湖沼環境税の意義や森林の働き・重要性等を啓発するため広報を実施	体験学習参加者 6,000人 普及啓発活動の実施 35,300千円	体験学習参加者 8,383人 普及啓発活動の実施 32,696千円	 森林・林業に係る普及啓発活動 中学生の丸太切り体験
筑波山ブナ林保護対策事業			
筑波山のブナ林保護のため、生育環境の整備等を実施	ロープ柵設置 500m ブナ林の調査 20,538千円	ロープ柵設置 358m ブナ林の調査 (ブナ開花調査等) 筑波山ブナ林保護対策委員会の開催 18,414千円	 ブナ林保護対策委員会開催の様子

4

令和6年度 事業実施による効果【森林関係】

1 自立した林業経営を目指す経営体による森林経営集約化面積

令和5年度末：18,883ha → 令和6年度末：20,526 ha

2 森林整備（再造林、間伐等）による効果

(1) 森林整備の効果を公益的機能の観点から金額換算

→約11億3千万円に相当

①水源涵養：4億1千万円 ②土砂流出等防止：3億8千万円 ③二酸化炭素吸収：3億4千万円

(2) 森林整備に係る費用対効果は、約1.9倍（効果：約11億3千万円／費用：約6億円）

令和7年度 の取組【森林関係】

自立した林業経営により、適切な森林整備と森林資源の循環利用を推進することとして、引き続き、以下の施策に取り組んでいく

1 自立した林業経営による適切な森林の整備・管理

- 再造林等の森林整備や高性能林業機械、スマート林業機器等の導入支援
- 県産木材の利用推進

2 森林環境の保全

- 沿岸部の生活を守る海岸防災林の松くい虫被害対策
- 森林・林業体験学習による森林環境教育

令和6年度森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】

1 生活排水等対策

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
霞ヶ浦流域等高度処理型浄化槽補助事業			
浄化効果の高いNP型高度処理型浄化槽設置促進のため、上乘せ補助を実施 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、撤去費用や宅内配管工事費を補助 ※NP型浄化槽設置補助・単独浄化槽撤去補助・宅内配管工事補助。複数の補助を利用した場合1件と計上	補助件数※ 934件 384,163千円 *年間負荷削減量 COD：約21.7トン 全窒素：約3.8トン 全りん：約0.34トン	補助件数※ 822件 280,806千円 *年間負荷削減量 COD：約19.2トン 全窒素：約3.4トン 全りん：約0.32トン	 高度処理型浄化槽の設置

湖沼水質浄化下水道接続支援事業・農業集落排水施設接続支援事業

下水道及び農業集落排水の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助	下水道 985件 (228件) 225,300千円 (75,000千円)	下水道 442件※ (228件) 74,004千円 (66,028千円)	 上：下水道接続工事 下：農業集落排水施設接続工事
	農業集落排水施設 120件 26,000千円 *年間負荷削減量 COD：約20.0トン 全窒素：約8.0トン 全りん：約0.88トン	農業集落排水施設 69件 12,793千円 *年間負荷削減量 COD：約8.7トン 全窒素：約3.6トン 全りん：約0.38トン	

令和6年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
霞ヶ浦・北浦点源負荷削減対策事業			
工場・事業場の排水基準の遵守徹底等のため、水質保全相談指導員を配置し、工場・事業場の立入検査等を実施	立入検査 1,400件	立入検査 1,269件 ※延べ1,943件	
	80,764千円 *年間負荷削減量 COD: 約17.4トン 全窒素: 約14.8トン 全りん: 約2.26トン	79,865千円 *年間負荷削減量 COD: 約15.8トン 全窒素: 約13.4トン 全りん: 約2.05トン	

工場への立入検査

2 農地・畜産対策

事業内容	当初計画	実績	
良質堆肥広域流通促進事業			
畜産系負荷削減のため、霞ヶ浦・涸沼流域内で生産された堆肥を流域外等で利用する集団（畜産農家と耕種農家で構成）への取組に対して補助	堆肥利用実証ほの設置 50ha	堆肥利用実証ほの設置 131.5ha	
家畜排せつ物の適正な処理と良質な堆肥等の生産を促進するための施設整備や機械導入等への補助	整備箇所数 3か所 (1か所)	整備箇所数 2か所※ (1か所)	
	90,225千円 (37,015千円) *年間負荷削減量 全窒素: 約340トン	56,559千円 (35,970千円) *年間負荷削減量 全窒素: 約36.3トン	

※このほか、R7年度に繰越工事にて実施予定

上:良質堆肥の散布
下:堆肥舎

7

令和6年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

3 県民意識の醸成

事業内容	当初計画	実績	
霞ヶ浦環境体験学習推進事業			
子どもの頃から水辺環境に親しみ水環境保全の重要性を学ぶため、霞ヶ浦湖上体験スクールを実施	参加者数 5,600人	参加者数 4,688人	
	28,355千円	21,237千円	
水質保全市民活動・環境学習等推進事業			
市民活動を促進するため、環境保全活動や環境学習に必要な機材の貸出し及び市民団体への活動費補助を実施	補助団体数 10団体	補助団体数 11団体	
霞ヶ浦自然観察会などの体験型環境学習等を実施	12,635千円	13,364千円	

湖上体験スクール

市民団体の環境保全活動を支援

8

令和6年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分で内書き)

事業内容	当初計画	実績	
漁場環境・生態系保全活動支援事業			
漁業者等による植生（ヨシ）帯の保全活動等に対して補助	支援団体数 5活動組織 2,000千円	支援団体数 5活動組織 1,276千円	 植生(ヨシ)帯の保全活動

4 水辺環境の保全

事業内容	当初計画	実績	
漁業による水質浄化機能促進事業			
未利用魚の回収委託 (魚体を通じた窒素・りん除去)	未利用魚回収量 320トン 15,475千円 <i>*年間負荷削減量 全窒素：約7.9トン 全りん：約2.30トン</i>	未利用魚回収量 381.2トン 16,430千円 <i>*年間負荷削減量 全窒素：約9.4トン 全りん：約2.74トン</i>	 未利用魚を回収

9

令和6年度 森林湖沼環境税活用事業の実績【湖沼関係】

(カッコ書きは前年度からの繰越分)

事業内容	当初計画	実績	
釣り魚有効活用促進事業			
釣り人からの釣り魚の回収と有効利用	釣り人から釣り魚を回収、飼料等の原料に有効活用 3,000千円	釣り人から釣り魚を回収、飼料等の原料に有効活用 2,895千円	 霞ヶ浦湖岸における釣り魚の回収
アオコ対策事業			
霞ヶ浦流域や千波湖におけるアオコ回収等の実施	アオコ回収等 3,500千円	アオコの除去及び対策 (遡上防止のための送水 攪拌及びアオコの除去) 7,884千円	 上：船による攪拌 下：アオコフェンスの設置
霞ヶ浦水質環境改善事業			
霞ヶ浦等の水質改善に向けた調査研究	水質改善に向けた調査研究 24,578千円	水質改善に向けた調査研究 22,805千円	 霞ヶ浦環境科学センターにおける研究

10

令和6年度 事業実施による成果【湖沼関係】

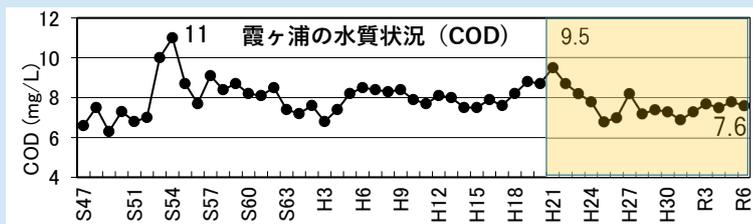
高度処理型浄化槽への転換や下水道等への接続、堆肥の流域外利用等により、河川・湖沼への汚濁負荷を削減

年間負荷削減量 COD：43.8トン [達成率約74%] 全窒素：約66.1トン[89%] 全りん：約5.5トン[95%]

→平均的な家庭が1年間に排出する汚濁負荷量(COD)約6,300世帯分に相当

(参考)

霞ヶ浦流域の生活排水処理率：R6 84.7%
8期計画 R2(現況) 81.4% → R7(計画) 86.3%



令和7年度の取組【湖沼関係】

霞ヶ浦等の水質を着実に改善していくよう、引き続き水質浄化効果が高い事業に重点化して実施する。

ア 生活排水等対策の推進

- 単独処理浄化槽の撤去費・宅内配管工事費補助を行い、合併処理型浄化槽への転換を促進
- 霞ヶ浦流域等において、高度処理型浄化槽の設置及び下水道等への接続を促進
- 霞ヶ浦流域において、規制強化した小規模事業所に対し、立入検査・改善指導等を実施

イ 農地・畜産対策の推進

- 霞ヶ浦及び涸沼流域内での良質な堆肥等の生産とそれらの流域外利用等を促進

ウ その他（県民意識の醸成、水辺環境の保全）

- 霞ヶ浦湖上体験スクールの実施
- アメリカナマズ等未利用魚の回収（魚体に含まれる窒素やリンの湖外への取り出し）

11

県民に対する森林湖沼環境税の周知

【森林・湖沼共通】

森林及び湖沼・河川の環境保全の重要性、必要性を広く県民の皆様を理解いただくため、以下のような取組を通じて普及啓発を図っていく。

- ・ 県広報紙「ひばり」への特集記事掲載
- ・ 森林・林業体験学習、湖上体験スクールを通じた子供たちへの環境教育
- ・ 子供向け読本の作成・配布
- ・ イベント等を活用したPR
- ・ 啓発グッズの作成・配布
- ・ 県HPでの広報
- ・ いばキラTVを通じた啓発動画の公開



県広報紙「ひばり」令和6年7月号



イベントにおけるPR
(R6.7.20 エコフェスひたち2024)



PR動画の公開

12